

市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。  
今回は、29年度上半期（9月30日現在）の予算執行状況をお知らせします。

### ◆一般会計（歳入）

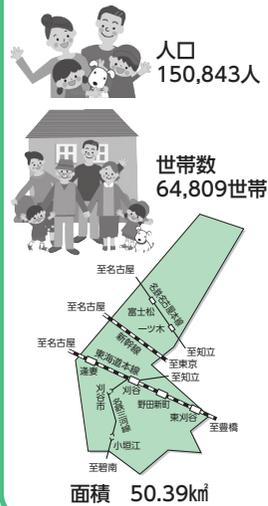
予算現額	629億3,806万円
収入済額	326億1,210万円
収入率	51.8%

### ◆一般会計（歳出）

予算現額	629億3,806万円
支出済額	219億6,630万円
執行率	34.9%



### ◆基礎数値◆



### ◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	5億990万円	3億333万円	4,069万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億1,642万円	1億9,414万円	1,072万円
国民健康保険	137億8,046万円	62億3,899万円	56億5,875万円
後期高齢者医療	16億6,046万円	6億216万円	3億6,801万円
介護保険	82億2,838万円	37億8,232万円	29億9,016万円
計	242億9,562万円	111億1,794万円	90億6,833万円

### ◆企業会計

区分	項目	予算現額	執行額
水道事業	収益的収入	28億8,155万円	13億776万円
	収益的支出	27億774万円	9億1,739万円
下水道事業	資本的収入	4億9,192万円	3,635万円
	資本的支出	11億1,327万円	6億1,183万円
下水道事業	収益的収入	36億3,192万円	12億4,774万円
	収益的支出	36億3,185万円	6億3,504万円
下水道事業	資本的収入	20億3,594万円	6億648万円
	資本的支出	28億2,536万円	18億4,493万円

※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。

# 財政状況をお知らせします

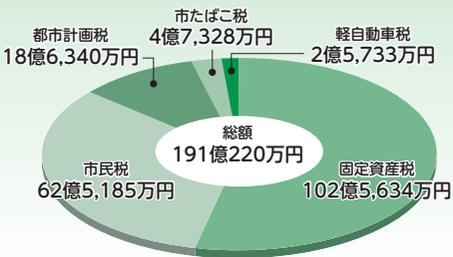
29年度上半期（9月30日現在）

問 財務課 ☎62-1006

### 市税の負担状況

1人当たり 126,636円  
1世帯当たり 294,746円

### 市税収入済額内訳



### 市有財産の状況

土地 3,375,205.05m<sup>2</sup>  
建物 564,104.03m<sup>2</sup>  
基金 217億8,479万円

### 市債の状況

#### ◆一般会計

借入目的	現在高
教育債	18億5,861万円
土木・公営住宅債	11億1,850万円
総務債	8億5,652万円
民生債	4億890万円
衛生債	3億5,242万円
消防債	2,769万円
その他	20億5,973万円
計	66億8,237万円

#### ◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	2億1,620万円

#### ◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	18億8,001万円
下水道事業	217億7,158万円
計	236億5,159万円

## 健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の28年度決算に基づく数値をお知らせします（表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています）。

#### ◆健全化判断比率

(単位：%)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.56
連結実質赤字比率	-	16.56
実質公債費比率	△1.5	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標  
連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標  
実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標  
将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標  
早期健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

#### ◆資金不足比率

(単位：%)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
下水道事業特別会計	-	
水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標  
経営健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

総評・・・市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。